

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【公表番号】特表 2020-505342 (P2020-505342A)
 【公表日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-007
 【出願番号】特願 2019-537357 (P2019-537357)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 45/06 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 37/04 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 C 1 2 Q 1/02 (2006.01)
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 Z N A N
 A 6 1 K 39/395 T
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 45/06
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 37/04
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 C 1 2 Q 1/02
 C 1 2 N 15/09 Z

【手続補正書】
 【提出日】令和 3 年 1 月 18 日 (2021.1.18)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

がんを有する対象を治療する方法における使用のための、機能不全の腫瘍抗原特異的 C D 8⁺ T 細胞を特異的に標的化する、薬剤。

【請求項 2】

前記対象が、固形腫瘍がん罹患しており、任意に

(i) 前記腫瘍が、T 細胞浸潤を許容するが、免疫治療には耐性を有する；または

(i i) 前記腫瘍環境が、機能不全の抗原特異的 C D 8⁺ T 細胞を含む、

請求項 1 に記載の使用のための薬剤。

【請求項 3】

前記方法が前記機能不全の腫瘍抗原特異的 C D 8⁺ T 細胞を抗 4 - 1 B B 剤及び / または抗 L A G - 3 剤と接触させることを含み、任意に、前記抗 4 - 1 B B 剤及び / または抗 L A G - 3 剤が、抗体、抗体フラグメント、または抗体模倣分子である、請求項 1 に記載の使用のための薬剤。

【請求項 4】

前記方法が更なる治療剤の共投与を更に含む、請求項 1 に記載の使用のための薬剤。

【請求項 5】

前記更なる治療剤が、化学治療薬または免疫治療剤である、請求項 4 に記載の使用のための薬剤。

【請求項 6】

前記更なる治療剤が、細胞治療、モノクローナル抗体 (mAb) 治療、サイトカイン治療、及びアジュバント治療からなるリストから選択される免疫治療剤であり、任意に

(i) 前記免疫治療剤が、抗 CTLA-4 モノクローナル抗体及び / または抗 PD-L1 モノクローナル抗体からなるリストから選択される mAb 治療である ; または

(ii) 前記免疫治療剤が、樹状細胞治療及び T 細胞治療からなるリストから選択される細胞治療である、

請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記更なる治療剤が、表 2 に記載の受容体の 1 つを標的とする、または前記更なる治療剤が、PD-1、TIM-3、OX-40、ICOS、TIGIT、CD244、TNFRSF18、Nrnl、Nrpl、KLRG1、GM156、GPNMB、GPR65、TMEM205、TMEM126A、CRTAM 及び / または Sema7a を標的とする、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記方法が、前記機能不全の腫瘍抗原特異的 CD8⁺ T 細胞を、表 2 に記載の受容体の 1 つを標的とする治療剤と接触させることを含む、請求項 1 に記載の使用のための薬剤。

【請求項 9】

前記治療剤が、PD-1、TIM-3、OX-40、ICOS、TIGIT、CD244、TNFRSF18、Nrnl、Nrpl、KLRG1、GM156、GPNMB、GPR65、TMEM205、TMEM126A、CRTAM 及び / または Sema7a を標的とし、任意に、前記治療剤が、

(i) 抗 Nrnl 抗体、抗体フラグメント、または抗体模倣分子である ;

(ii) 抗 Sema7a 抗体、抗体フラグメント、または抗体模倣分子である ; または

(iii) 抗 CRTAM 抗体、抗体フラグメント、または抗体模倣分子である、

請求項 8 に記載の使用のための薬剤。

【請求項 10】

(a) 抗 4-1BB 剤、抗 LAG-3 剤、抗 Nrnl 剤、抗 Sema7a 剤、及び抗 CRTAM 剤のうちの 1 つ以上と、(b) 免疫治療剤と、を含む組成物であって、対象に治療目的で投与されるように配合された、組成物。

【請求項 11】

前記抗 4-1BB 剤、抗 LAG-3 剤、抗 Nrnl 剤、抗 Sema7a 剤、及び / または抗 CRTAM 剤が、抗体、抗体フラグメント、または抗体模倣分子である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

(a) 細胞集団からの CD8⁺ T 細胞を試験して、前記 CD8⁺ T 細胞が LAG-3 及び 4-1BB を同時発現しているかどうかを判定することと、(b) 抗 Nrnl 剤、抗 Sema7a 剤、及び抗 CRTAM 剤を投与することと、を含む、インビトロ方法。

【請求項 13】

前記抗 Nrnl 剤、抗 Sema7a 剤、及び / または抗 CRTAM 剤が、抗体、抗体フラグメント、または抗体模倣分子である、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記細胞を、4-1BB 及び LAG-3 の同時発現について試験することにより機能不全の T 細胞を特定する方法。